

第1回おいらせ町まち・ひと・しごと創生総合戦略会議 要旨	
日 時	平成28年12月13日(火) 13:30～:15:10
場 所	おいらせ町役場本庁舎2階 201会議室
出席者	出席委員(11/17): 榎山忠委員、小野厚志委員、相川征昭委員、木村雅行委員、木村慶造委員、外崎充子委員、昆忠彦委員、佐々木秀智委員、島田勝委員、荒川由美子委員、月舘雅幸委員 欠席委員(6/17): 加藤正志委員、山崎市松委員、田村錦悦委員、尾田真紀委員、種市恭子委員、藤本啓一委員 アドバイザー 河村信治 事務局: 企画財政課 成田光寿課長、柏崎勝徳補佐、橋本拓也 出席人数: 15名

内 容	
1. 開会 ※事務局の進行で開会される。	
2. 会長あいさつ 皆様、こんにちは。雪が降りましていよいよ冬が到来したなど憂慮していましたところ、今日は穏やかな日和となりました。それにしましても慌ただしくなっていました年末にもかかわらず皆様には、お集りいただきましてありがとうございます。本日の案件であります(1)総合戦略の検証結果及び対応方針について、それから(3)の今後の進行管理についてなどになりますが、いずれも(1)から(3)まで事務局から説明をいただいて、これまでの経過と今後の予定等を理解いたしまして、それについて質疑応答等をしてまいりたいと思います。皆様、ご意見をたくさんお寄せくださいますようお願い申し上げます。どうぞよろしく申し上げます。	
3. 案件 (1) 総合戦略の検証結果及び対応方針について	
事務局	案件1についての説明がなされる。
会長	これについて、ご意見やご質問等がある方はお願い致します。
委員	別紙2の5、町民バス運行事業の平成27年度の達成度の評価がC、別紙4のおいらせ町民バス利用者数のところではAに評価が変わっていますが、どうしてですか。
事務局	はい。別紙2の町民バスの拡充事業ですが、平成27年度の先行型事業ですと拡充した部分だけの実績値になり、平成28年度からは町民バス運行事業と統合して下段の数値に変更になります。別紙2の5の平成27年度は、3,600人の目標に対して実績が471人でしたので、評価はCとなります。また、別紙4の平成27年度の方は、拡充部分と全体の町民バス運行事業と統合した数値になりますので、評価がAになっております。記載の仕方が分かりづらくて申し訳ありませんでした。
事務局	検証部会の部会長、副部会長から検証について何か補足などありましたらお願い致します。

部会長	<p>検証作業にあたり、なかなか時間が取れず資料の全てに目を通すことができていなくて申し訳ありません。これとって皆様に発表するようなことはありませんが検証部員の皆様には非常にお忙しい中、3回の会議に出席していただきましてありがとうございました。資料が膨大で目を通すだけでも大変であったと思います。皆様、本当にご苦労様でした。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p>
副会長	<p>部会長の言われた通り本当に資料が結構な量でございましたので、ちょっと難儀でした。総花的になりましたのでどの事業を評価するのか、できれば選択と集中をしていただければ評価がしやすいのではないかと感じました。全部の事業を評価させていただいたので、それも予算が数万円から百万円単位までありました。その辺のこれからの評価の在り方を検証部会で話させていただきましたので、その点についても今後反映させていただければと思います。</p>
会長	<p>膨大な資料と項目を評価していただきまして大変お疲れ様でした。また、まとめていただいてありがとうございました。じっくり読めばよく理解できると思います。それでは案件1を終えまして、次の案件2に進ませてもらってよろしいでしょうか。なお、最後にまたもう一度、皆様からご意見を伺わせていただきたいと思います。それでは次(2)総合戦略の改訂(見直し)について事務局からお願いします。</p>
(2) 総合戦略の改訂(見直し)について	
事務局	<p>案件2についての説明がなされる。</p>
会長	<p>案件2について説明がされましたがご意見ご質問ございませんか。</p>
委員	<p>はい。質問があります。別紙6の1ページの5のところ、「中心市の都市機能」という表記がありますが、連携中枢都市の場合も中心市と表現するのかどうか。定住自立圏では中心市ですが、連携中枢都市では変わるのではないかと思います。よってここでは、「中心市及び連携中枢都市」などとなるのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>はい。八戸市が来年の1月から中核市になり、それに伴って連携中枢都市圏になります。その際の八戸市の位置付けは、連携中枢都市になります。また、上十三定住自立圏は継続されますので、ご指摘の通り「中心市及び連携中枢都市」に修正したいと思います。ありがとうございます。</p>
委員	<p>その他にはありませんか。なければ次に案件3の今後の進行管理について事務局から説明をお願いします。</p>
(3) 今後の進行管理について	
事務局	<p>案件3について説明がなされる。</p>
会長	<p>説明を聞いてだいぶ概要が理解できた気がします。それでは案件3につきまして、ご意見やご質問のある方はお願いしたいと思います。</p>
アドバイザー	<p>これだけの計画を立てられると評価だけでも非常に大変なことでありますが、粛々とやっていただくしかなく難しいことだと思います。今、我が校でも地方創生の大学版のようなものに追われておりまして、ここに来ると身に染みる思いで</p>

	<p>す。これはあくまでも個人の意見、考え方ですが、若干評価に手間がかかり過ぎているので、この場にせつかくこれだけの方々に集まってもらっても、なかなかクリエイティブになるのは難しい状況です。やはり何とか簡略化していかないといけないと思います。今後の進行管理について、重点項目をどうするのかというときに一つ考えないといけないこと、私自身が意識していることは、特化して目玉にすると言うよりは、どちらかと言うと総合戦略を機会にどれだけ行政が横串をさせるかだと思います。ある事業を特化した部署において「頑張ってるね」という感じにならないで、これを機会に何か一つの事業について、いろいろな部局から力を合わせて関わっていける横串となっていけるような事業が何なのかということを見出し、そこでどれだけ行政と住民が力を合わせて注ぎ込めるかというところに地味でもいいから絞っていく必要があると思います。どうしても予算（補助金）を申請する都合などで目玉となるものが必要となり目が行きがちですが、総合戦略を作っていく価値は、いろんな分野で皆が問題意識を共有することが大事だと思います。分かりやすくいろんな分野で協働しないとできない。そういう中で、皆で考えるワークショップの意義があり、それが皆の橋渡しになると考えていただければ良いと思います。私もこれだけのものであるとうまいチョイスの仕方がすぐには出てこないですが、そういう視点で是非お願いできればと思っています。</p>
<p>会長</p>	<p>はい。ありがとうございます。目玉というある一つの項目だけではなく町民みんなが関わっていけるようなことを重点目標に策定して取り組んだ方が良いのではないかというお話でよろしいですね。</p>
<p>アドバイザー</p>	<p>抽象的なものの言い方で申し訳ありませんが、考え方としてはそういうことです。</p>
<p>会長</p>	<p>私は、このような考え方についてはよく理解できますが、皆様方がいかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>検証部会の中からお世話になっています。ずっと思っていたことですが、私は普段からよく数字に接する仕事をしておりませんが、その私から見てもこの資料のたくさんの数字はどうなのかと正直思います。担当課の皆さんが非常にご苦労されてまとめていらっしゃると思いますが、先ほどの住民が参画されるような場合は、これを見て理解できるのだろうかと思います。KPIを作るためにKPIを作っているような感じがします。KPIの中でも何が重要なKPIなのか、目指すべきポイントをもっとはっきりさせる必要があると思います。基本目標の中に安定した雇用の創出を図るとありますが、5ページを見てもらうと分かりますが、上にある数字が本来目指すべき数字になると思います。すべてのKPIを考える必要はないのではないかと思います。4つだけでも良いと思います。その施策のための下はKPIだと捉えた方がもっとシンプルで分かりやすいのではないかと思いますし、21のパッケージがあれば、それぞれに1個ずつでもよいのではないかと。あとは、総合計画に基づいた各施策については役場でKPIを見て行けば良いのではないかと思います。地方創生の目標が何かと考えた時に人口なのか仕事なのか工業なのか何なのか、もっと重要なKPIだけに絞り込んでやった方が良いと思います。本</p>

	<p>当に大事な数字が何なのかということについて、考えることが本当の総合戦略なのではないかという気がしました。</p>
会長	<p>はい。ありがとうございます。うなずいている方も居りまして、本当にこの全てを町民の方に理解していただきたいというのは、ちょっと無理だと思います。説明を聞いているうちに「もう、良いじゃないの」という気分になるくらい濃いので、一つひとつがどういう意味か見失いそうになります。例えば仕事の創出にしても、これはいろんな要素を含んでいると思います。重点項目を決めて、皆が理解できるような立て方が望ましいと思います。はい。次にご意見のある方はいますか。</p>
委員	<p>私は部会員になっていないのですが、まず、達成状況についてですが、金額ベースの部分と満足度の部分とありますが、全然、別の物差しだと思います。面積と体積を同じところで、38.5%という達成度で見ているわけです。ですからできれば別々の、お金はお金、満足度は満足度というように、これを分けた方が分かりやすいと思います。</p> <p>先ほどのお話の中で何に一番重点を置くかという話がありました。これは私の考えですが、上から4行については、それぞれのメーカーなり卸なり小売なりが自助努力でやっている内容であり、町全体が取り組む課題ではないような気がします。みなさん真剣にご商売されていますので、そういうところは違うような気がします。それを全体として捉えるのであれば、それは今の傾向として、おいらせ町が今このようになっているということであればそれは良いと思いますが、じゃあどこの企業の売上を1億から2億にするのということは、それぞれの企業の企業戦略になると思います。そのように感じました。</p>
会長	<p>はい。他にご意見等はありませんか。お願いします。</p>
委員	<p>私も先ほどの委員の意見に同感であります。県内のハローワークでは、総合戦略の推進にあたり、全部の自治体から要請があったわけではありませんが、自治体から要請があった場合は、意義あることとして積極的に参加しております。県内の所長会議があった時にそういった話題になります。私は三沢市とおいらせ町に参加しておりますが、他の地域の話を知るとここまでは踏み込んでやっていないらしく、部会や委員に諮る内容をコンパクトに絞っているようです。先ほども話があったように資料があまりにも膨大で、最初は私にどんな貢献ができるかと疑問に思いました。皆さんがそれぞれのセクションのプロですが、専門の領域が違うわけで、当然自分の意見を持ち合わせてくるとしても、ちょっと消化しきれないまま進んで来たような感じがあります。先ほどのお話に私も同感でして、私の知識の領域で見た時に活かせるところは数カ所しかなく、それも国の政策で進めているものではないかと思う箇所もありました。それは個々の自治体や地域だけで取り組んでもどうしようもないことだと思います。例えばサポート企業認定数は、青森労働局の中でも各部局に割り当てられる数がありますが、その中で可能性のある企業に要請しながら認定に辿り着く手順で進めています。そういったこともなくただ申請が上がってきて青森労働局に認められたので、実績1件として評価するというのは、おいらせ町のKPIに載せるのはいかがなものかと思いました。</p>

会長	他にご意見等ありますか。ここまでのご意見等に関しまして、事務局の方から何かあればお願いします。
事務局	いろいろなご意見をいただきありがとうございます。身に染みる思いで聞いておりました。確かに地方創生を進めるにあたって国の方からいろいろな仕組みが提示されまして、それに沿った形で進めております。ただ、実際の地方創生の事業は、国を見てやるわけではなくて地域のためにやることです。地域の方々の方々や、それから今回お集まりの方々から理解していただかないと何ら意味がないと思っております。KPIの設定の仕方、それから数字の持ち方も外部に出すものと行政内部で処理できるものがあると思います。設定そのものも民間企業側でやるものと行政でやるものと、それぞれ分かれるのかと思います。数字もどれが大事なのか、ポイントを絞ることも大事かと思っております。今回、いろいろご意見をいただきました。他の計画ですと策定してしまえば、その期間はその方針に沿って進めることとなりますが、この地方創生の総合戦略については、毎年見直ししながら進めることになっておりますので、今回いただいた意見を踏まえて、来年度以降も修正しながら出来る限り意見を反映するようにして進めていきたいと考えております。どうもありがとうございます。
会長	ありがとうございます。なかなか難しい仕事だとは思いますが、また、今日の委員の意見なども汲み取っていただきまして成し遂げていただければと思います。他にご意見等ありますか。
委員	達成率のことでありますが、5月31日の達成率は61.9%なのですが、そして2回目の時は38.5%になっています。全体のことを評価したので達成率が下がったということだと思っておりますが、達成率に対する考えについてお聞かせいただきたい。
会長	それでは、事務局お願いします。
事務局	今、達成率のお話が出ましたが、別紙2の方が61.9%、別紙4の方は38.5%ですが、実は別紙2の方は、地方創生先行型事業となっているので、平成27年度に実施した地方創生の内容に絞った事業を検証したものになるので、達成度も高めになっております。どちらかというところと地方創生の始まった辺りに先行してどんどんやっていった事業なので、必然的にどうしてもやらなければならないと切羽詰まった形でやったところもありますので、達成率も高くなっております。一方の別紙4の方は38.5%で、同じ平成27年度のものなのですが30%ほど低くなっています。これはパッケージ毎になっておりますので、すべての事業を網羅していません。分母が大きくなっておりますので達成度は低くなっています。あとはどの程度だったらいのかということですが正直、正解という答えは持ち合わせておりません。地方創生はこれからも平成28年、29年と続いて行きますので、初年度は38.5%でしたが、平成28年、29年度は50%や60%と上がっていくと思います。
委員	上げて行かなければならないということですね。そのための委員会なのですよね。委員会で話し合われた項目が、その成果が出てくるような出し方をしても良いのではないかと思います。そうしないと特に委員会が関わった部分の数字が見えないと思います。結果が出てないような気がします。先ほどから重点項目を選んで進めた方が良いとの意見が出ておりましたが、正しくその通りだと思います。

事務局	KPI の設定の仕方や出し方について、本日たくさんご意見をいただきましたので、今後 KPI をどうしていくか考えていきたいと思えます。あとは KPI 全体の達成率の目標値というのは正直考えていなかったもので、そういった部分も今後は、行政内部で考えていかなければならないと思っております。
会長	委員会がどのように関わったかというのは難しいことだと思いますが、参考意見や質問等を申し上げて、この戦略会議がより分かりやすく、町民の皆さんにアピールし易くなるように手助けできれば、委員としての仕事としては良いのではないかと考えております。なんといっても本庁の方々はプロですので、これ以上の課題を絞り出すことは難しいのではないかと考えます。それぞれのお立場によっていろんな見方ができると思えます。今一度ご質問やご意見をお聞きしたいと思えますが、いかがでしょうか。
会長	事務局からの希望であります、今回が最後の会議になるということで、委員一人ひとりにこの会議に対する感想など何でもよろしいですので聞いてみたいと思えます。
委員	まずは皆さんと一緒に 2 年間やってこられた事に感謝を申し上げますし、勉強になりました。ただ、私は議会からの代表として来ているのですが、ここでいろいろ話し合われて決まった事が議会に出たときに、私がそれに対して異論を述べるわけにもいかない。ただ聞いているだけになります。実はこういった過程で決まってきたということを分かっている、議会の方々には詳しくは分からないので「どうなっているんだ」「おかしいだろう」などと言う方もいて、その狭間に入っています。そういったこともあり議会からこの会議に出てくることは、はたして正しいことなのか疑問に思い議会に提言しましたところ、もう出ない方が良いのではないかと意見もありました。そして議会の中で話をした方が良いのではないかとということになり、次からはそのようになっていくと思えます。
委員	私は反対です。逆だと思います。やはりどのように進行しているのか、どのような人達が関わって、どの様な話をしているのか。それは客観的に議会の一人として伝えるべきだと思います。
委員	そうは言いますが。
委員	中身の事ではなくて、客観的に会議がどのように行われているのかを伝えてもらいたい。
委員	この会議には、私は産業民生委員の代表として出てきているのですが、産業民生委員の常任委員会の中で、話し合いをして納得してもらえるようにして段取りを踏んで本会議に入っていくようにしたいのです。これがすぐ本会議に入っていくと大変です。さらに資料もこれだけ膨大なものですから目を通すだけでも至難の業なのです。それだから、本会議に出ていくと各議員からいろんな意見が出るが、私にはそれに対する反問権は無く、ただ聞いているだけになります。納得したようなしないような感じで聞いている感じです。本当に勉強になりました。これからの活動に於いてもいろいろ役に立って行くと思えます。ありがとうございました。

会長	ありがとうございます。ただ今のお話について事務局から何かありますか。
事務局	議会との関わりについてですが、議会の方々へ全然情報提供をしていないわけではなくて、議員が全員集まる全員協議会で説明しております。これは通常の議会の定例会とは別のものになりまして、そこは議案を審議する場ではなくて、いろいろな行政側の情報を提供してご意見をいただく場としています。ですから行政側も議員も自由な立場で発言できる場になっています。この地方創生の取組につきましても時期を見て、議員全員協議会で資料説明をして、ご意見をいただくことにしています。よって先ほど委員がおっしゃった戦略会議の立場も議会の全てを背負って出ていると捉えなくても良いのかと思います。議員総意での意見のやり取りは、議員全員協議会であったり定例会であったりしますので、この会議は各分野の方々に出させていただいて、それぞれのお立場で発言や意見をいただくものと私どもは捉えておりましたので、そんなにシビアに敏感にならなくても良いのではないかと考えております。
委員	そうはおっしゃいますが、充て職で来ています。議会に対して就任要請があって代表として行かなければならない。個人ではないと私は思っております。気楽にやってくださいと言われても。議会を通さないで個人としてならもう少し気楽であります。すみません。
会長	はい。事務局は議会との関連がありますよね。このお話についても事務局とは関わっていますよね。
事務局	先ほどお話ししましたが、議員全員協議会という場において、地方創生の取り組みについて説明しておりますので、その中でいろいろなやり取りがあります。議会側からの意見をその場で受けて反映するなり、修正するという事で、こちらも考えております。
会長	大変、真摯なご意見をいただきました。ここに来てから資料を見ている私たちとは違い、資料をご覧になって来ているのには感心致しました。ありがとうございました。それでは、次の委員をお願いします。
委員	事務局の皆様には本当にお疲れ様でした。普段の事業や業務を進める中で、こういった資料を各部局で作成するのは、すごい負担だと思います。それこそ20年、30年前はこういった評価はなくて、行政は事業をやりっぱなしで、また新しい事業に取りかかっておりました。先ほどアドバイザーからもお話がありましたが、検証が大変負担になっていると思います。KPIについても昭和の時代にはこういった考え方のものはなくて、最近では行政も財政的に厳しくなり、有効に使わなければならないことから、一つの考え方として使う以上は成果のある使い方をしましょうということでKPIが出てきています。そういった中で、やり始めたばかりで試行錯誤しながら進めて行くのも仕方のないことだと思っております。この会議そのものも地方創生の進行管理や検証をするために会議がありますが、それと同じくKPIも検証なり見直しなどの進行管理の一つの手段でしかないのです、あまりその数字が大きいとか小さいとかそういったところだけに気を向けなくて、あくまで検証の一つの手段と言うことで捉えて行けば良いのではないかと考えております。

会長	プロセスも大事だろうということだと思います。ありがとうございます。次の委員お願いいたします。
委員	私は充て職とは思っていませんが、当ハローワークでおいらせ町を管轄する関係で参加させていただいております。この町へは住んでいませんでしたので、本当のところ軽トラ市はどのようなことをしているのか、この町の子供達のことだとか、芸能のことだとか、文化財のことだとか、いろいろ資料の中で出てきますが、本当に最初のあたりは全然分からない中で考えていましたが、新聞などに地域の情報だとかいろいろ出ているのを見ますと、私たちが今携わっている会議の内容がいろいろなところに波及していることや繋がりが分かってきて、この会議の重要性も分かってきて本当に貴重な勉強をさせていただいたと思っております。
会長	ありがとうございます。それでは次お願いします。
委員	検証部会の座長を務めさせていただいた割に全部を把握できておらず、大変申し訳なく思っておりますけれども、自分自身が関連した部分を拝見した中で、やっぱり検証部会の中でそれなりの評価をいただいていると感じています。特に外部からいらしている昆委員からは広い見識をお持ちの方ですので的確なアドバイスをくださっていることに非常に感心しております。自分たちはともすると身びいきになる部分がありますが、新しい事業の中で、例えば空き店舗対策ですとかそういう部分の中で、何とか継続できないかなと思ったりしておりますが、第三者が客観的に見れば、こういう評価になるということが、すごくはっきり分かって、私は結果的に非常に今後に活かせるものだと思っております。自分自身でも商工会の会長という立場から甘い計画は、安易に受けない方が良いということ、現実には行政から声がかかったとしても必ずしも乗っかれば良いというわけではなく、ずっと先を見たときに果たしてそれがプラスになるのかならないのか。そういった視点から考えなければならぬですし、もっと広い視点から今回のようなアドバイスをいただくことも非常にありがたいことだと思います。この会に出席させていただいて非常に勉強になりました。今後共よろしくお願いいたします。
会長	ありがとうございます。次の方お願いいたします。
委員	私はこの委員会に何回も出席していないわけですが、あまりこのような難しいことはやりたくないと思っております。ただ、漁業組合の組合長という名前だけで来ています。そのような中で何を考えているかといえば農協のように漁業組合も赤字が多いことから合併ばかりを考えています。私はそういった中でどうにか生き残っていかなければならないし、行政に迷惑を掛けたくないということから、あまり大きな組合ではないけれども小さいながらも自立できるような体制づくりに持って行くまで頑張りたいと考えている。まち・ひと・しごと創生総合戦略会議の書類はここに来て見るようなもので、全く分からないですが中身を見れば、我々が見たからと言ってすぐにピンと内容が分かるような内容が一つもないので、これからも勉強していかなければならないと感じています。この会議が終わったら組合に行って、参事に相談しながら書類を見て勉強したいと思っております。これからもよろしく申し上げます。

会長	ありがとうございました。次の委員お願いいたします。
委員	<p>先ほど木村検証部会長からもお話がありましたが、検証を通しまして大変勉強させていただきました。ただ誤解を招かないように付け加えさせていただきますが、全ての内容について検証をすることが嫌なわけではなくて、実際、町の計画そのものに総合計画があって、その下に実施計画があるということです。その一連の中で評価できるものは、それは町の執行部の方で、職員の方でやっていただきます。そして今回、地方創生に関わるものについては、できれば私たちがそれを重点的に深く評価をしたいということでした。それで選択と集中ということで先ほどお話しさせていただきましたが、どれかに特化をするということだけのお話ではなく、本来であれば前回の会議の中でもお話しさせていただきましたが、非常にタイトな時間でこの計画を立てたわけです。なぜかと言いますと先行型事業というものがあって、いくらかでも国から交付金をいただきたいということで、急いで策定した経緯があります。ただ、その中でアドバイザーもおっしゃいましたけれども本来であればその過程においてワークショップなども用いて住民の方から意見をもっと吸い上げていけば、後々の評価の方も非常にやりやすかったのではないのかなというところであります。順番の部分が逆になって、これから総合計画を策定するために住民からもう一度意見をいただく機会があるようですが、本当は前段の中に、計画を立てる際に住民の方からワークショップで意見を頂戴できる機会があれば良かったのかなと思っております。あともう一つが、委員のおっしゃった議会のことについてですが、政治学的なことを研究していることもありますのでお話しさせていただくと、今回の地方創生そのものは行政に加えて産学金労言ということで、それぞれの階層の皆さんから出席をいただいて、忌憚のないご意見を、そして実際に私どもが地元を見つめ直そうという趣旨で国が地方創生を進めているわけです。その中で地方の政治は、二元代表制でありまして、実際には首長、それに対抗できるのが議会であります。両方とも私共が選んでおります。その議員の方々が議会の内部で熟議、討議をさせていただいて地方創生というのはどういうものか、そういったことを勉強していただいた上で、執行部である町長の方に質疑をしていただくというようなことが求められるのではないかと思います。ということで是非、木村検証部会長ではないですが、できれば継続して当会議の方に出席していただければと思います。</p>
会長	ありがとうございます。次の方お願いいたします。
委員	<p>皆様お疲れ様でございました。私は一つ期待していることがあります。私が住民代表ということもありますが、今度、住民ワークショップと住民アンケートを実施するというので、これで住民がどのように思っているのかということ、その中で子育ての部分はこうしていきたいなどを話し合ってコミュニティデザインをしていけたら良いと思います。これをなくしては持続可能な施策運営ができないと思っております。是非、住民ワークショップを工夫して人を集めてやっていただきたいと思っておりますし、注視していきたいと思っております。ありがとうございました。</p>
会長	ありがとうございました。

委員	<p>この資料を作っていただきまして本当にお疲れ様でした。敬意を表します。昆委員とは別の会議にも出席しておりまして、その時にも申し上げましたが、この会議に来る前に過去の資料を見ましたが、もの凄い厚さでした。これの4倍くらいありまして全部積み上げると相当の高さになります。できればそういう無駄とは言いませんが、なんとかパソコンを使うなり何かしらの方法で、例えば電子データを使った方がよろしいと思います。また操作できない方へは紙でも良いと思います。月舘委員や私の場合はノートパソコンもありますので、そういった改善はできるのではないかと思います。そうしたら事務方の修正もすぐにできますし、それを検討していただきたいと思います。本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。</p>
委員	<p>今日は遅れて参加して申し訳ございませんでした。百石高校は先行型事業で予算をつけていただきまして、町の決断の速さに本当に感謝しております。県の校長会に出席しても他校の校長先生からおいらせ町が教育に力を入れていること、そしておいらせ町の人口が増えていることに対して凄いですねと羨ましがられております。私は身びいきかもしれませんが、おいらせ町は勢いがある町だと誇りに思っております。</p>
委員	<p>本当に事務方は大変ご苦勞様だと思います。先ほどもどなたかがお話ししていましたが、KPIは手段であって目的ではないということです。何をやりたいのか、何をしなければいけないのか。そこが一番大事なのではないかと思います。</p>
会長	<p>それでは講評に入ります。</p>
アドバイザー	<p>講評とかまとめる気はあまりないですが、また先ほどもお話ししたことと繰り返しになるかもしれませんが、総合戦略を昨年1年で全国どこでもまとめるということは、かなり無理なテーマだったと思います。その中で各自治体の策定した総合戦略を見てみると色々な個性があります。例えば首長が強いイニシアティブを発揮して、やる内容を決めているところもあれば、コンパクトなところもあります。理想的に住民の意見を聞き、あるいは元々コミュニケーションができてれば、それらを積み上げていくことが理想的だと思います。おいらせ町の成果物を拝見すると極めて行政的にまじめに作っていて、いろいろやっている事業等を積み上げてこういった形になっていると思います。それは良いところも悪いところもあると思います。今ある状況がおいらせの個性だと思います。逆に変なことはしていないわけです。このままいきなり行政のプロが作ったものを町民にフィードバックできるかと言えば、先ほど委員がおっしゃられたとおり直ちには難しいと思います。これが去年から住民ワークショップを1回、2回やってパッと作ったところで、それも本当の住民参加としての厚みのあるものには、おそらくなかったと思います。ですので、これを機会にこれからまじめな行政と住民の多様なものを組み合わせられて、これが良いものにブラッシュアップされていけば、それが望ましい形なのではないかと思います。行政内部の運営は、事務局の企画財政課でやっていますが庁内調整がかなり大変だったと思います。それを真面目にやられたからこういったものになったと思いますが、例えば庁内でもう少し若手のワーキンググループみたいなものを作って、もう少し揉んでいきつつ、住民</p>

	<p>の方と一緒にやっていくような、そんな形が作れないでしょうか。一つに提案です。それが難しければ難しいなりにその辺をフォローする。折角このような戦略を作りましたが、悪く扱うとお荷物になりますので、うまく活かして行けるように進めていただければと思います。先ほどの例え話ですが、いろいろな事業を通じて、いろいろな方が関われるようなということ言えば、高校生レストランに漁業や農業担当の方々も一緒になってそれを盛り上げていく。ひとつの事業をいろいろなセクションで一緒に盛り上げていくということが、もっと広く見えるような形で展開できるともっと横断的な盛り上がりになっていくでしょうし、そういうネタがおそらくいろいろとあると思います。それぞれの専門の方がこれだけいるので、問題などを共有しながらそういうものに意見を出し合えば、非常に良い場になっていくのではないかと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございました。最後に私ですが、この会議に参加いたしまして、会議のタイトルのように町の仕事や人に対する関心が前よりもかなり親密に思えるようになりました。自分が住んでいる町に対して愛着を持てるようになってきました。ということは委員の皆さんも同じではないかと思います。もう一つは、この膨大な資料を沢山作って、評価のための評価をしなければならぬ仕事は、手間が掛かり過ぎて大変だと思いました。最後に読んでしまうと何が何だかわけが分からなくなってきました、やっぱり重点的においらせ町らしいものを挙げて、それを皆で横断的に取り組んでいけたら、それは住民の方にも分かりやすいし、協力もし易いのではないかと思います。皆さまどうもありがとうございました。司会をさせていただきますのでどうもありがとうございました。</p>
事務局	<p>会長ありがとうございました。いろいろ叱咤激励も含めてご意見をいただきました。すごくやる気がでてきました。事務方も行政の仕事ですから仕組みが複雑であり仕方がない部分もありますが、住民の方々や当会議の委員の方々に分かりやすいような仕組みづくりに変えていく、工夫する必要があると思いました。真摯に受けて頑張っていきたいと思います。どうもありがとうございました。</p>
4. その他	
事務局	<p>先ほどからお話が出ておりますが、現在の委員の任期が来年の6月10日までとなっております。しかしながら今後の予定でも触れましたが、次の会議予定が来年度7月頃となっておりますので、当委員での会議は今回が最後となります。地方創生の取り組みについては、皆さまのご理解とご指導、ご協力のもとでここまでやってこられました。本当にありがとうございました。なお、来年6月下旬頃に、また改めてこの会議を再度組織しまして、検証等を行っていく予定でありますので、その際は引き続きご協力をよろしくお願いいたします。</p>
5. 閉会	<p>これを持ちまして戦略会議を閉じます。大変ありがとうございました。</p>